



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2019.10.23・10.27
(No.3024・3025)
週報 No.15・16

楽しいロータリーでつながろう

第2560地区ガバナー／大谷 光夫
 会 長／若槻八十彦
 会長エレクト／野崎喜一郎 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／小出子恵出
 幹 事／柳 取 崇 之
 S A A／中 條 克 俊
 会 計／西 山 徳 芳
 直前会長／松 永 一 義
 会長ノミニ／明田川賢一 (クラブ奉仕B)
 例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
 E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:58名中39・24名
 ■先々週出席率:86.21%・74.14%

【ゲスト】

・10/23 新潟県立三条商業高等学校
 校長 磯邊 一幸 様

【先週のメイクアップ】

[10.17] 三条東RCへ
 ・石橋育於さん、丸山行彦さん、
 ・加藤紋次郎さん、中林順一さん、
 ・中村和彦さん、山田富義さん
 [10.18～20] ライラ研修(南魚沼)へ
 ・船越良則さん、落合孝夫さん
 [10.19] 第1回米山記念奨学
 委員長セミナー(新潟)へ
 ・相場弘介さん、若槻八十彦さん
 [10.21] 三条南RCへ
 ・五十嵐博宣さん
 [10.24] 燕RCへ
 ・加藤紋次郎さん、木村文夫さん
 [10.24] 三条RACへ
 ・船越良則さん、落合孝夫さん
 [10.25] 吉田RCへ
 ・加藤紋次郎さん
 [10.28] 三条南RCへ
 ・中條克俊さん、中沢真幸さん、
 ・五十嵐晋三さん、中林順一さん、
 ・小越憲泰さん、小林卓哉さん、
 ・杉山幸英さん、中村和彦さん、
 ・石橋育於さん、松永一義さん、
 ・丸山行彦さん
 [10.29] 三条北RCへ
 ・斎藤弘文さん、中沢真幸さん、
 ・五十嵐晋三さん、石橋育於さん、
 ・杉山幸英さん、伊藤寛一さん、
 ・丸山行彦さん、加藤紋次郎さん、
 ・柳取崇之さん、五十嵐博宣さん



会長挨拶

若槻八十彦 会長



皆さん、こんにちは。

昨日は一日中「即位礼正殿の儀」のニュースで持ちきりでしたが、本当に厳かな中にも、優雅で気品に満ち溢れた素晴らしい儀式であったと思います。

祝賀パレードは、台風被害などの被災者の皆さんに配慮されて延期とされましたが、朝から雨の降る中、両陛下が赤坂御所から皇居に向かわれ、いよいよ「即位礼正殿の儀」が始まろうかという直前に、雨が上がり、虹が懸かるというドラマティックな天候に、「天の岩戸が開かれた」と、喜んだ人びとがどれだけ沢山いたことでしょうか。まるで神話の世界を今に見ているかのようでした。

私個人としてひとつだけがっかりしたことは、「万歳」の仕方も分からない政治家の姿が、全世界に放映された事は、日本人として恥ずべきことだと思っております。

さて、ラグビー・ワールドカップはこの週末に準決勝を迎えますが、夢と希望と勇気を与えてくれた「ラグビー日本代表」に、心からの敬意と感謝を捧げたいと思います。

この週末には大谷年度の「地区大会」が行われるため、「にわかファン」はお休みしますが、決勝戦も含め、テレビ観戦で応援を続けていきたいと思っています。

また、今日10月23日は「中越地震」が起こった日でありま

す。あの日から15年が経ちました。振り返ってみますと、その後は毎年のように、地震や風水害そして台風などによる大きな災害が、日本各地で起こり続けているように思います。

台風15号の大被害から40日、そして今回はわずか10日前に、台風19号で被災された地域に、台風20号から変わった温帯低気圧や前線の影響による昨日の大雨が襲い、再び土砂くずれ等を引き起こしているとのことです。

まるで、これまでずっとインフラ整備を怠ってきたツケが、このような大被害をもたらしていると言っても、過言ではない気がいたします。

政府ならびに財務省には、令和の時代に相応しい発想と、政策の転換を望むところであります。

以上で会長あいさつを終わります。

幹事報告

柳取崇之 幹事

◎地区事務所より

「米山記念奨学生学友会総会のご案内」

日 時 11月30日(土) 15:30~18:30

会 場 ホテルオークラ新潟

◎地区事務所より

「国際ロータリー第2560地区 財団感謝の集いのご案内」

日 時 12月1日(日) 12:00~14:30

会 場 ANAクラウンプラザホテル新潟

◎次週 30日(水)の例会は、27日(日)に開催される地区大会の振替えとなります。地区大会ご欠席の方は事務局で記帳または他クラブでメイクアップをお願い致します。

ニコニコBOX

若槻八十彦会長

昨日の「即位礼正殿の儀」に感動いたしました。

三条商業高校校長 磯邊様、卓話よろしくお願ひ致します。

関川 博さん

即位礼正殿の儀。身を引き締め拝観いたしました。天皇陛下の宣明に心を打たれ、奇しくも本日は中越地震から15年目。あの日を忘れない決意を新たにこの国の弥栄を願います。

樺山 仁さん

昨日の即位宣言を始め令和の時代に一步前進させました。

磯邊校長先生の卓話に期待して。

松永一義さん

即位の礼、ゆっくりテレビを見ました。

磯邊校長、卓話楽しみにしております。

船越良則さん

10月19、20日とライラ研修に行ってきた。

アクトメンバー3人出席して、研修を楽しんでいました。アクトメンバー現在6名です。皆さん、良い若い方がいたら紹介してください。

菊池 渉さん

報恩講シーズン真最中。「膝」がガタガタです。

そろそろ引退近しの感じがしています。

神子島正樹さん

ラグビー日本代表から感動と勇気をもらいました。がんばります!!

渡辺良一さん

三条エコノミークラブのセミナーに参加しました。

柳取さんの息子さんが立派に挨拶していました。

磯邊校長先生、卓話よろしくお願ひ致します。

伊藤寛一さん

即位の礼 歴史の重さを感じ又ロータリーの歴史も感じました。

磯邊校長ありがとうございました。

荻根澤隆雄さん

今日は小春日和です。身も心も踊れると良いのですが。

三条商業高等学校 学校長 磯邊様ご苦労様です。

衛藤泰男さん

本日もよろしくお願ひします。

磯邊先生、卓話ありがとうございました。

高橋 司さん、関 義実さん、野水靖之さん、柳取崇之さん、石黒良行さん、小出子恵出さん、落合孝夫さん、小林卓哉さん、木村文夫さん、歸山 肇さん、渡辺勝利さん、斎藤弘文さん、小越憲泰さん、西山徳芳さん、山田富義さん、米山智哉さん

三条商業高等学校校長 磯邊一幸様を歓迎申し上げます。本日は卓話ありがとうございました。お話し楽しみにしております。

10月23日分 ￥ 29,000

今年度累計 ￥ 453,100

「卓話」 「高校生の生徒指導」

新潟県立三条商業高等学校

校長 磯邊 一幸 様



本日、卓話を話させていただき、三条商業高等学校長 磯邊一幸でございます。よろしくお願いいたします。

日頃から、会員の皆様には、本校生徒の就職や研修機会の提供など、大変お世話になってお

ります。この場をお借りして、御礼申し上げます。

また、今週末に、第29回全国産業教育フェア新潟大会が開催されますが、物心両面から御支援、御協力いただき、新潟県立工業高校とともに、御礼申し上げます。

三条地区をはじめ、県央地区の生徒の成長につながるよう、地域と緊密に連携しながら、努めて参りますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

さて、今日は、お手元の資料のとおり、「高校生の生徒指導」と題して、少しばかりお話しさせていただきます。

まず、私のプロフィールであります。生まれは村上であり、これまで30年ほどの教員生活のうち、下越地域に勤務した経験が長く、この三条地区は初めての勤務となります。今年3月まで、県教育委員会でいじめ対策を担当していました。そして、4月から三条商業高校の校長として勤めております。三条商業高校は、伝統校であり、穏やかな学校という印象を持っています。

私は、これまでの勤務で生徒指導に取り組んできた年数が長かったのですが、ここ数年、生徒指導上の問題や課題として、変化を感じることがあります。

かつては、喫煙や万引きに係る問題行動がどの学校でもありました。しかし、現在、そうした問題行動があったと聞く機会が少なくなったと感じています。暴走行為なども減少していると思います。

今、県教育委員会が喫煙の課題として捉えているのは、いじめの問題であり、自殺予防についてです。あわせて、情報化の進展に伴う、SNSの適正利用等、情報モラル・リテラシーに係る指導の強化です。

昨年9月、県立高校生の自殺事案に係る第三者委員会報告について、マスコミで大きく報道されました。

県教育委員会では、生徒の命を学校が守れなかつ

たことをお詫びするとともに、その報告を真摯に受け止め、二度と悲しい事案を起こさないよう、再発防止に全力で取り組んでいくこととしております。

本校も、そのことを肝に銘じ、現在、職員一丸となって取り組んでいるところでございます。

それでは、前職での経験や現在の三条商業高校での勤務をもとに、県内のいじめなどの状況についてお話しいたします。

1 「いじめ」について

「いじめ」と言った場合、どのような印象をお持ちになるでしょうか。集団での殴る蹴るの暴行、金品を奪うなどの行為が「いじめ」だと思われる方が多いと思います。単なる生徒間の行き違いやトラブルは「いじめ」ではないと思われる方もいるのではないのでしょうか。

しかし、現在の「いじめ防止対策推進法(H25.9施行)」では、「いじめ」を次のように定義しています。

この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

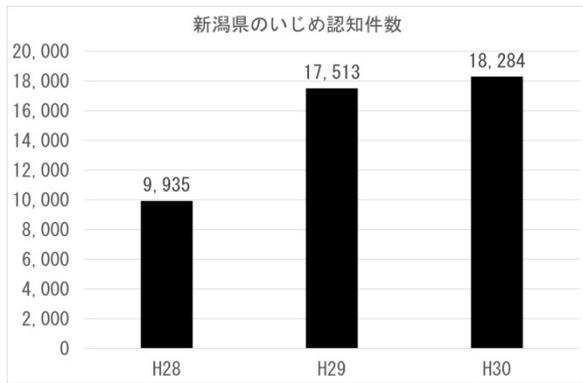
法では、「児童等が心身の苦痛を感じているもの」と広く定義しています。その理由は、生徒間の小さなトラブルなどであっても、いじめと認知し、素早く対応し、自殺などの重大事態を未然に防ぐためです。

心身の苦痛を訴えてきた生徒の声を、教職員が丁寧にすくい上げ、学校はいじめと認知するとともに、保護者などと連携しながら、組織的で、かつ適切で迅速な事案対処、及び再発防止に努めることが何より重要だと思います。

そのため、現在、文部科学省や県教育委員会では、学校の積極的ないじめ認知を肯定的に評価しています。

過去3カ年の県内のいじめの認知件数は、お手元の資料のグラフと表のとおりです。

		H28	H29	H30
新潟県	小学校	7,921	14,882	15,399
	中学校	1,785	2,339	2,343
	高等学校	221	253	480
	特別支援学校	8	39	62
	合計	9,935	17,513	18,284



平成28年度に比べ、平成30年度は約2倍になっています。

このことは、県内の学校が積極的にいじめの認知を進めていることの表れであると思います。

また、全国との比較からすれば、県内の児童生徒の千人あたりのいじめ認知件数は79.3件と、全国平均の40.9件を大きく上回り、全国6位となっています。

本校においても、いじめの積極的な認知を進めるため、教職員は、保護者と情報共有しながら取り組んでおりますが、本校だけでは解決できないこともあり、市町村や県、警察などの関係機関との緊密な連携が求められている現状があります。あわせて、地域への情報発信の重要性も感じています。

学校が組織的にいじめ対策に取り組むとともに、教職員の感性など、その資質の向上を図り、生徒の発するサインを見逃すことなく、いじめによる重大事態の発生を未然に防ぐよう取り組むことが重要だと考えています。

2 不登校について

次に、不登校についてです。資料の表をご覧ください。

	小学校		中学校		高等学校	
	不登校児童数	不登校児童の割合	不登校生徒数	不登校生徒の割合	不登校生徒数	不登校生徒の割合
新潟県	701 (560)	0.64% (0.51%)	1,935 (1,759)	3.38% (3.04%)	1,222 (1,165)	2.10% (1.90%)
全国	44,841 (35,032)	0.70% (0.54%)	119,687 (108,999)	3.65% (3.25%)	52,723 (49,643)	1.63% (1.51%)

(カッコ内は、平成29年度実績)

小中学生の不登校の割合は、全国平均を下回っているのに対して、高校生では、全国平均を上回っている状況があります。

このことは、小中学校での不登校対策の取組などを参考に、高校生の不登校対策に早急に取り組む必要があることを示すものであると思います。

私自身、定時制高校での勤務経験がありますが、

小中学校時代に不登校だった生徒が、高校に入り、皆勤で過ごし、社会人として立派に自立している例を多く見えます。

子どもにとって環境が変わることが何かのきっかけになるのではないかと考えています。定時制高校の教育相談の取組なども踏まえて、不登校対策を実施することが必要ではないかと思っています。

3 中途退学について

次に、中途退学についてです。資料の表をご覧ください。

	H28		H29		H30	
	中途退学者数	中途退学率	中途退学者数	中途退学率	中途退学者数	中途退学率
新潟県	799	1.3%	849	1.4%	711	1.2%
全国	47,249	1.4%	46,802	1.4%	48,594	1.4%

かつては、県内の高校生の中途退学率が全国平均を上回っている状況があり、大きな問題でしたが、様々な対策や関係機関との連携などにより、現在は、減少傾向にあります。

しかしながら、この数値には転学した生徒の数は含まれておらず、いったん入学した学校から進路変更している生徒が多いことも事実であります。特に、一年生への指導に課題があると感じています。進路決定に係る、生徒や保護者へのより丁寧な情報提供などとともに、入学後の出身中学校と高校との連携の強化が求められているのではないかと考えています。

4 おわりに

残念ながら、これまで10年以上、県内の児童生徒の自殺者がゼロだった年度はありません。特に、平成29年度は10人の自殺者がありました。緊急事態であると思います。

学校が児童生徒の発するサインを見逃すことなく、保護者などと連携しながら、自殺を未然に防ぐ取組を強力に進めていく必要があります。

これまで、学校は命の大切さを生徒に指導してきました。これからは、その指導に加えて、生徒が悩んでいるときや苦しいときに、信頼できる大人に適切に「SOS」を発信できるよう、生徒を指導する必要があると考えます。あわせて、その「SOS」を、教職員が適切に受け止め、生徒の立場に立ち、より良い支援・指導を行うことができるよう、教職員の資質の向上や環境の整備に努めることも重要だと考えます。

また、情報化の進展について、総務省に調査によれば、

「世帯におけるスマートフォンの保有割合が約8割になった。一方、固定電話の保有割合は約6割になっている。」

「個人・企業においてソーシャルネットワークワーキングサービス等を活用している割合が上昇した。（個人：60.0%、5.3ポイント上昇／企業：36.7%、7.8ポイント上昇）」

「デジタルデータ収集のため、IoT (Internet of Things)やAI等のシステムやサービスを「導入している」または「導入する予定がある」と回答した企業の割合は約2割となっている。」

との現状があります。

これは、生徒が情報化社会に適切に対応できるよう指導することが現在の学校に求められる喫緊の課題であることを示すものだと思います。

犯罪などの被害に遭わないためだけでなく、生徒自らが、図らずも他者に迷惑を与え、あるいは被害を与えることがあってはならないと考えています。そのための教育が重要だと思います。

以上、簡単ではありますが、「高校生の生徒指導」について、お話をさせていただきました。

本校としましては、地域と密に連携しながら、生徒の成長を図ってきたいと考えておりますので、今後とも何卒よろしく申し上げます。

本日は、ありがとうございました。

11月のお祝い

◎会員誕生祝

- 12日 柳取崇之さん
- 21日 西山徳芳さん
- 29日 渋谷健一さん



◎夫人誕生祝

- 14日 野崎ミチコさん (喜一郎さん)
- 17日 中村範子さん (和彦さん)

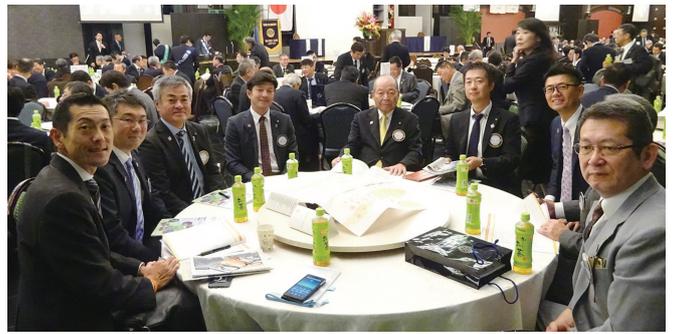
◎結婚記念祝

- 3日 吉井直樹さん (道代さん)
- 3日 鈴木久幸さん (真由美さん)
- 3日 滝沢 亮さん (佳代さん)
- 6日 衛藤泰男さん (蓉子さん)
- 11日 金子俊郎さん (裕子さん)
- 17日 矢吹信太郎さん (英子さん)
- 22日 柳取崇之さん (恵さん)

◎100%出席賞

- 22年 佐野勝榮さん







次週例会 11月13日

12日(火)～13日(水)
親睦旅行「伊勢神宮参拝ツアー」

次々週例会 11月20日

「ロータリー財団月間」
ロータリー財団委員長 小林吾郎 会員

